

熊野神社周辺に於ける文化財と文化財を結ぶ古道の再生

◆事業の目的・背景

区内には町指定重要文化財として指定されている「熊野神社本殿の彫刻」と「行屋」の2カ所があるが、そこに通じる古道の荒廃等により、その存在が忘れ去られようとしている。建物を管理している組織、東講社と熊野神社の神事等を手伝っている若者を中心としたボランティア熊建て会を中心に互いに協力し、祖先から伝わる歴史、文化、伝統を区民の手弁当による作業を通じ、区民全体が共有する遺産として再生事業に取り組む。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
平成30年	<ul style="list-style-type: none">・町道熊野神社参道線横の道路拡張事業・参道入り口から幅5メートル長さ25メートルの道の整備・参道中腹に駐車場の設置	700,000円
令和元年	<ul style="list-style-type: none">・参道途中に水洗トイレ・水道の設置・文化財行屋周辺の駐車場の整備・地下水対策と排水溝の整備	1,000,000円
令和2年 (実施中)	<ul style="list-style-type: none">・地下水の再構築工事・コンクリート道路の整備・文化財案内看板の設置	1,000,000円

◆事業成果

- ・15台収容の駐車場の完成は話題を呼び、トイレの設置は女性の方々に安心感を与えることができた。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・駐車場は段差があり転落防止の柵が必要である。
- ・地下水が想像以上に吹き出し、水路を再構築する必要がある。
- ・駐車場増設に当たり残土の処理が計画どおり処理できなかった。